

# 住宅用火災警報器の維持管理について

## 定期的な作動確認



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的<sup>※1</sup>に作動確認をしましょう。



作動確認をしても住警器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです<sup>※2</sup>。住警器本体又は電池を交換しましょう。

## 古くなったら交換



火災警報以外の警報が鳴った場合



住警器本体の故障か電池切れです<sup>※2</sup>。住警器本体又は電池を交換しましょう。

- ※1 警報器の作動確認は春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的を実施してください。
- ※2 故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問合せください。なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。